

智頭町 森林組合だより 平成29年6月 No.21

もくじ ☆☆☆☆ CONTENTS



1. 第30回通常総代会の開催・・・・・・・・・・ (1)
2. 組合長挨拶・・・・・・・・・・ (2)
3. 28年度事業報告・経営状況・・・・・・・・ (3)
4. 29年度事業計画・・・・・・・・・・ (4)
5. 新役員の紹介・・・・・・・・・・ (5)
6. 理事会の開催状況・・・・・・・・・・ (5)
7. 新しい総代の皆様～お世話になります～ (6)
8. 平成29年度組織分担表・・・・・・・・ (7)
9. ちづ保育園の完成・・・・・・・・ (8)
10. 安全衛生研修会開催・・・・・・・・ (8)
11. 29年度森林経営計画の策定計画・・・・・・・・ (9)
12. ニューフェイス・・・・・・・・ (9)
13. 森林組合運動方針(目標年度:平成32年度)・・・・ (10)
14. 国版森林環境税の動き・・・・・・・・ (11)
15. 加工センターから<韓国での販売促進活動>・・・・ (12)

☎689-1402 智頭町森林組合

鳥取県八頭郡智頭町大字智頭 2081 番地 4

TEL(0858)75-0075(代) FAX(0858)75-1192

木材加工センター

TEL(0858)75-0104 FAX(0858)75-1446



平成29年度 第30回通常総代会の開催



挨拶をする寺坂組合長



出席された総代のみなさん

第30回通常総代会が平成29年5月25日(木)午後1時30分から智頭町総合センターで開催されました。

総代定数200名のうち、本人出席108名、書面決議52名、委任状15名、合計175名の出席により審議されました。

寺坂安雄組合長挨拶の後、ご臨席いただきました来賓の鳥取県森林・林業振興局長の尾崎史明様、智頭町副町長の金児英夫様、鳥取県森林組合連合会長の前田幸己様から祝辞をいただきました。

本年の総代会では、智頭地区の岡田邦雄様が議長に選任され、執行部より提案された10議案が、円滑な議事進行によりすべて原案どおり承認されました。岡田様、総代の皆様有り難うございました。

また、任期満了に伴う役員を選任も行われ、新役員様には、向こう3年間智頭町森林組合の舵取りを行っていただきます。

組合長挨拶



代表理事組合長
寺坂 安雄

本格的な夏がすぐそこまで来ているような候となりました。組合員の皆様には、組合の運営について格別の御支援、御協力をいただきしており、厚くお礼を申し上げます。

この度、5月25日の総代会、同日の役員会で、引き続き代表理事組合長を努めさせていただくことになりました寺坂安雄でございます。

平成23年6月から2期6年間、団地化による森林整備、智頭材の販売促進、それぞれに必須の高性能林業機械やモルダー等の導入に取り組んで参りましたが、まだ十分な成果が出ていない状況であります。

今後とも組合員各位をはじめ関係者の皆様のご期待に応えられるよう、誠心誠意取り組んで参りますのでよろしくお願い申し上げます。

近年の経済状況が先を見通せない状況にある中で、林業、木材産業にあつては、国版の森林環境税（仮称）が平成30年度の税制改正で方向性を示されると共に、森林の多面的な機能を意識した森林・林業基本計画の策定など、今後の持続的な森林経営や林業の成長産業化に期待が高まっているところであります。

森林組合は3月末に策定した平成32年度末を目標年度とした運動方針に基づき事業を展開いたします。

組合の経営ビジョンは

- 持続可能な経営を確立する。
- 素材生産量50,000m³を目標とする。
- 製材加工は2,800m³を目標とし、収益性を向上させる。

であります。

また、昨年から取り組んでいる地籍調査では、面積を増やして積極的に参入させていただきます。

今年は、森林組合が昭和52年に合併して、40周年を迎えることから記念の講演会を企画したいと考えております。

受託事業の増加、地籍調査への参入等により職員数の増大、現場作業員の控え室が無く労働環境の改善が必要、新製品の仏壇・イス等の展示施設がないことから、多機能をもった新たな組合事務所の設置を町のご協力をいただきながら検討することとしております。

私は、森林組合員各位、役職員皆様の御協力をいただきながら、智頭町森林組合の持続的な発展に努力する所存でありますので、引き続きご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

平成28年度事業報告・経営状況

智頭町森林組合では、国・県・町の施策に呼応しながら、平成24年度から設定している森林経営計画団地を中心に搬出間伐をベースとして事業展開をしております。

団地は管内森林面積（16,427ha）の70%のカバー率で設定しております。

森林組合の主要事業であります間伐は、昨年同様「造林事業」等を活用し、直営作業班や請負事業体のご協力をいただき、作業道を開設しながら、搬出間伐に取り組んでまいりました。

作業道は69路線、26,206mを開設し、搬出間伐16,062m³、間伐材持ち出し支援22,788m³を取扱ました。なお作業道開設、搬出間伐の事業は過去最高の扱い量となりました。

加工事業では、受注した町立ちづ保育園の木材料をはじめ、県内外の工務店等の建築関係への販売に努め、1,849m³の取扱高でありました。

智頭杉の販売促進、販路拡大が智頭林業振興の最重要課題の一つであり、森林組合は、昨年春、智頭町と一体となって、九州等他の地域と連携しJR大阪駅前に販売拠点を設置し、智頭杉の内装材、新製品の仏壇・イス等の販売に取り組んでおります。一昨年から取り組んでいる「智頭杉でマイホームを！！プロジェクト」も定期開催2回、個人要望の開催も随時行っております。

1年間の事業結果として、事業取扱高660,444千円（前年609,775千円）、経常利益18,267千円（前年24,270千円）を上げることが出来ました。

これも組合員皆様のご理解と関係機関の御支援の賜と厚くお礼申し上げます。

損益計算書

科 目	金額（千円）
事業総利益	94,208
事業管理費	73,997
事業利益	20,211
事業外損益	△1,944
経常利益	18,267
特別損益	448
税引前当期剰余金	18,715
法人税・事業税	6,939
当期剰余金	11,776
前期繰越剰余金	1,752
当期末処分剰余金	13,528

部門別損益

科 目	金額（千円）
指 導 事 業	△4,006
販 売 事 業	43,685
加 工 事 業	2,023
森 林 整 備	52,506
計	94,208

剰余金処分

科 目	金額（千円）
剰余金処分量	13,528
内 法定準備金	2,400
内 任意積立金	10,000
次期繰越剰余金	1,128

平成29年度事業計画

林業関係では、豊富な森林資源を循環利用しながら、木材需要の拡大や国産材の安定供給及び森林の持つ公益的な機能と、林業経営の両立により林業の成長産業化を確実なものとする施策が推進されております。

森林組合は、3月末に策定した平成32年度末を目標年度とした運動方針に基づき事業を展開いたします。

森林組合の業務は、引き続き国・県・町の施策と歩調を合わせ、森林経営計画団地内を対象とした搬出間伐を中心に事業を推進してまいります。

事業の内訳は、間伐面積430ha、搬出間伐31,000m³及び作業道30,000mを計画しております。

事業量の増大に対処するため、直営の現場作業員を3名増員するとともに生産性の向上を図るための作業システムの見直しとともに、外注の請負事業者を3社増やすこととしております。

既設定の団地の事業を優先するため、新規団地設定は9団地と抑制した設定とし、カバー率を73%とする計画であります。

加工事業では、県内外の受注に努め、昨年導入した節埋め機や数年かけて整備した乾燥機、モルダー（自動四面カンナ盤）を活用し、原木、製品も適正在庫に留意しながら着実に業務を推進していきます。

昨年立ち上げた大阪の地域創生連携活動コンソーシアムでは、引き続きA材を中心とする智頭材の販売促進を図るために、熊本県の小国町、小国町森林組合、智頭町、智頭町森林組合が連携して、販売拠点として成果を上げるため積極的に取り組むこととしています。

部門別には、次の事項にも取り組みます。

指導部門

- 組合だよりの発行、地区座談会の開催等により、組合の取組情報を提供する。
- 昨年取得した森林認証SGEC、COCを周知する。

販売部門

- 路網整備、高性能林業機械の活用等により搬出間伐のコストを縮減し、森林所有者への利益還元を目指す。
- A材（製材向け）、B材（合板）、C材（チップ：バイオマス発電）トータルで出材し、安定的・効率的な供給体制を構築する。

加工部門

- 経費削減に努め効率的な加工センターの運営に努める。
- 製品の適正在庫に努め、在庫劣化による品質低下を防止する。

森林整備部門

- 森林経営計画認定の早い団地から、順次事業を実施する。
- リスクアセスメント等により、無事故、無災害を目指す。

☆新役員の紹介☆

平成 29 年 5 月 25 日（木）の第 30 回通常総代会において役員改選が行われ、理事 16 名、監事 3 名が選任されました。

総代会後、理事会を開催し、代表理事組合長に寺坂安雄氏、代表監事に松村俊之介氏が就任されました。組合の運営等、ご協力よろしく申し上げます。

選任された役員は下記のとおりです。



代表理事組合長
寺坂 安雄
那岐(古屋)



総務委員長
古谷 國興
那岐(野原)



総務副委員長
大坪 浩治
山形(郷原)



総務委員
石谷順一郎
智頭(上町)



総務委員
大原 脛一郎
富沢(波多)



総務委員
聲高 等
山郷(白坪)



代表監事 総務委員
松村俊之介
那岐(野原)



事業委員長
小川 啓介
那岐(河津原)



事業副委員長
小林正興
山郷(駒帰)



事業委員
森下 順平
土師(慶所)



事業委員
林 敬之
智頭(河一)



事業委員
綾木修二
山形(芦津)



監事 事業委員
前橋益夫
山形(大内)



加工委員長
小林太一
智頭(奈留)



加工副委員長
春摘 要
山形(浅見)



加工委員
河村憲夫
富沢(新見)



加工委員
坂本 幸男
土師(穂見)



加工委員
山本浩視
智頭(市瀬)



監事 加工委員
岡本甚一郎
富沢(岩神)

「理事会開催報告」

第 1 回理事会 平成 29 年 5 月 10 日

{協議事項}

- ① 定款の一部改正について
- ② 役員退任慰労金について
- ③ 平成 28 年度決算について
- ④ 平成 29 年度事業計画について
- ⑤ 総代会開催日時、付議議案について
- ⑥ 固定資産の取得について
- ⑦ 職員給与の改定について

第 2 回理事会 平成 29 年 5 月 25 日

{協議事項}

- ① 代表理事の選任について
- ② 理事が担当する委員会の構成について
- ③ 理事の報酬額、支払い方法について
- ④ 役員の退任慰労金の支給について
- ⑤ 推進員地区協議会の開催について

新しい総代の皆様～お世話になります～

平成29年4月1日～平成32年3月31日までの3年間で、総代として就任していただいております。ご協力よろしくお願いたします。

総 代 名 簿

山郷地区		定員 26名	
住所	氏名	住所	氏名
尾見	寺坂 慶夫	中 原	岡田 廣重
	青木 静明		中澤 雅人
白 坪	河村 睦人	福 原	藤原 雅利
	河村 百平		玉木 秀樹
新 田	高崎 幹一	駒 帰	藤原 守平
	高崎 節男		藤原 寛
中 原	岡田 功一	中 原	藤原 邦彦
	岡田 光弘		大藤 克紀
	中澤 幸久		小林 博恭
	加藤 修		中村 敏克
			中村 公生

山形地区		定員 38名	
住所	氏名	住所	氏名
篠 坂	川本 和正	浅 見	浅見 公昭
	前田 博昭		春柳 憲政
毛 谷	荒子 英明	池 中	山口 敦美
	小宮山 昭洋		田中 健治
大 内	橋本 光好	大 呂	中西 潔
	大森 剛一		大呂 佳己
郷 原	酒本 滋行	芦 津	大呂 武久
	山根 政寿		大呂 忠司
米 原	山根 政伸	八 河 谷	武田 彰弘
	大河原 達男		竹内 高途
西 野	声谷 吉弘	新 見	寺谷 正
	声谷 愠一		藤谷 潔
	大坪 英毅		武田 頼美
	大坪 義道		寺谷 太志
	大坪 弘幸		武田 宗孝
	白岩 道雄		白岩 勝明
	大坪 則秋		遠藤 優
			白岩 峯子

土師地区		定員 33名	
住所	氏名	住所	氏名
三 田	白岡 清二	三 明	和田 博雄
	谷口 洋		小林 太
山 根	谷村 泰照	天 木	小林 悟
	山本 公司		小林 熹文
徳 見	藤本 一堅	大 坪	小林 久男
	山中 章太郎		小林 章太郎
木 原	谷口 至令	山 田	稲塚 義典
	谷口 真一		福永 孝雄
横 田	田中 功	十 日 市	矢田 千恵子
	佐々木 賢次		大谷 剛司
石 田	佐々木 永光	慶 所	大谷 正二
	谷口 善彦		山本 修
	今倉 清之		福原 寛之
	河村 博恭		古田 隆章
	石田 紀光		谷口 憲一
	草刈 孝三郎		田中 憲治
			平尾 和彦

那岐地区		定員 34名	
住所	氏名	住所	氏名
大 屋	福安 誠	早 野	安住 政敏
	熊谷 美憲		安住 喜代子
早 瀬	福安 健孝	大 背	安住 勉
	森次 孝		大谷 悟司
真鹿野	古田 敬泰	東 宇 塚	黒岩 清人
	長石 健一		赤嵜 和徳
野 原	長石 憲一郎	下 西	寺坂 真輔
	安藤 元安		赤嵜 俊朗
柄 本	古田 元徳	奥 西	萩原 利昭
	谷口 安徳		赤嵜 完治
早 野	小谷 博明	河 津 原	国政 建次
	古谷 祥一郎		国政 節士
新 見	古谷 伊知郎	久 志 谷	前橋 放狂
	檀原 安之		河村 実則
	安住 仁志		國政 愛治
	竹下 逸雄		国石 貴信
	黒岩 悦雄		小川 寿朗

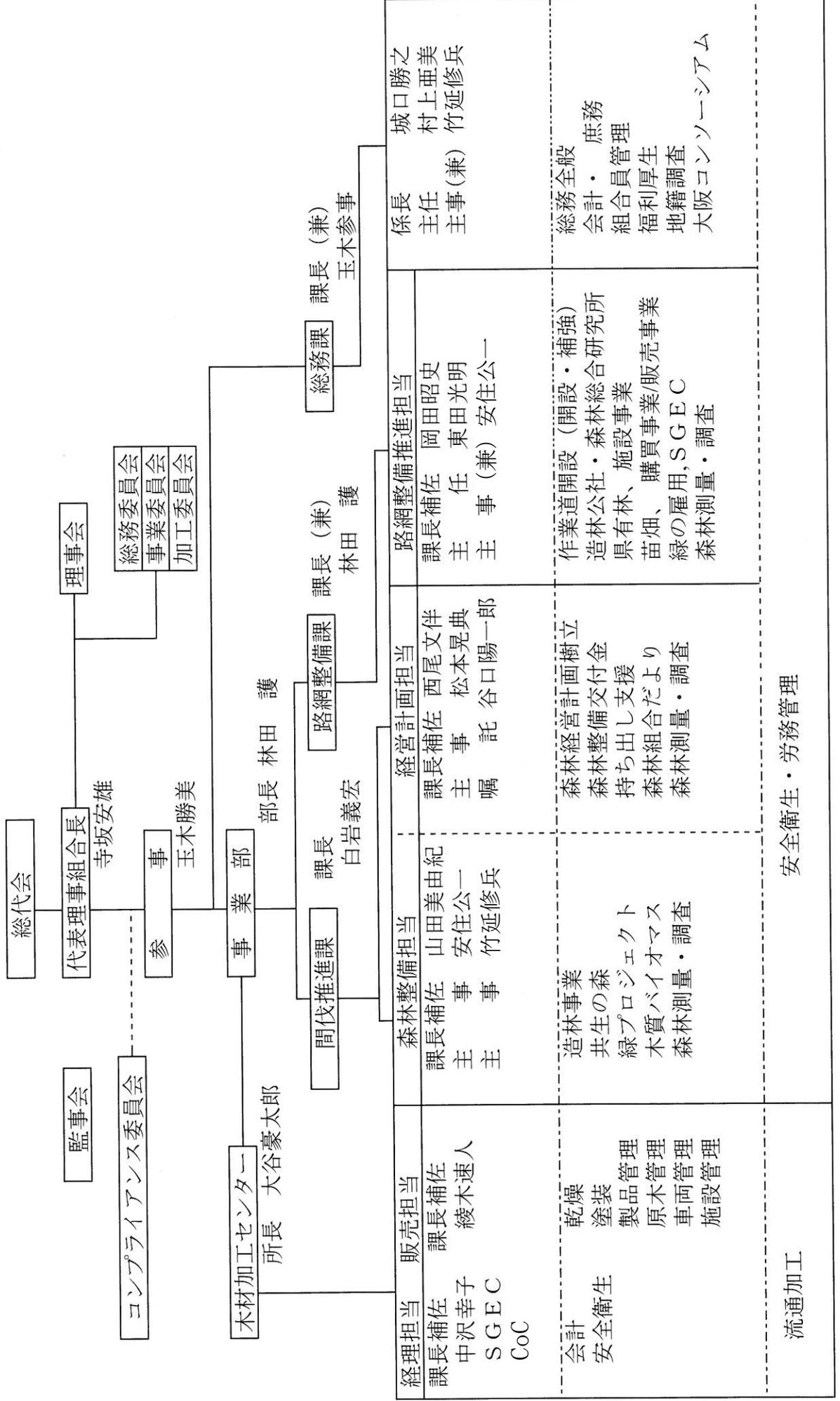
富沢地区		定員 28名	
住所	氏名	住所	氏名
岩 神	林 俊雄	新 見	河村 慎一
	林 孝明		河村 一則
坂 原	国岡 義則	口 波 多	西村 孝司
	国岡 豊与次		林 富恵
中 田	国岡 茂章	波 多	白岩 寿一
	西尾 修		大原 秀之
惣 地	西尾 寿美男	口 宇 波	大原 行雄
	西尾 友之		林 和毅
新 見	西尾 和彦	波 波	藤森 隆
	西尾 寿行		寺坂 光夫
	西尾 健次		中嶋 義男
	河村 道康		寺坂 清美
	河村 敏朗		藤森 弘憲

智頭地区		定員 41名	
住所	氏名	住所	氏名
沖 代	草刈 満男	河 二	谷口 美久
	平石 篤江		藤縄 薫
奈 留	竹延 勝之	河 三	酒本 敏興
	突出 光正		酒本 秀夫
米 井	西尾 亮祐	河 四	藤原 敏督
	米井 清美		萩原 学
岡 田	米井 邦雄	本 折	國本 秀靖
	西川 正美		西川 均
上 市 場	古林 太郎	市ノ瀬	西川 正行
	船岡 組博		菅谷 賢治
上 町	船岡 史	中 島	植木 淳二
	船岡 淳		植木 一實
下 町	青木 哲郎	湯 屋	藤原 強
	米井 裕治		平尾 総
河 一	土居 正直	鳥 巢	平尾 智
	中村 浩亨		平尾 宏
中 町	原田 弘之	板 井 原	藤原 市幸
	中田 優		福原 芳身
河 二	上田 誠子	久 志 谷	藤原 修
	綾木 昇治		西川 三徳

平成29年4月1日 就任

平成29年度組織分担表

平成29年6月1日



『ちづ保育園竣工式・内覧会開催』

智頭町内 2 保育園が統合された新しい木造の園舎の竣工式が、4 月 8 日（土）に行われました。その日は快晴で桜の花も今日の日をお祝いするよう、満開となりました。

園舎内に一歩足を踏み入ると、木の香りがあふれ癒しを与えてくれます。各教室には智頭材がふんだんに使用され暖かさにあふれています。

智頭町にとってこの園舎が、智頭町の未来を担う子供たちの「木とふれあい育み育てる場」となることを願います。



《安全衛生研修会の開催》

平成 29 年 6 月 9 日（金）に、加工センター従業員につきましては、若桜木材協同組合（ウッディ若桜）を見学させていただきました。

また、林産班、作業道開設オペレーターは西尾林業さんの現場（経営計画団地、新見清見団地）を見学させていただきました。内容は、作業道の線形、伐出システム等を西尾社長の説明を受け、その後伐採・集材・造材作業を見学しました。現在の人員配置は、作業道開設オペレーター1 名、伐出 3 名体制で作業を進めていました。1 日の生産量は現在 4.1m³/人日、今後は 5～6m³/人日を目標にされるとのことです。

森林組合におきましても今後参考になるところは取り入れ、安全第一でKYTによる災害防止活動を実施していきます。



平成29年度 森林経営計画作成予定地

No	団地名	面積(ha)	林班	説明会予定
1	芦津裏山	74.33	163	6月
2	芦津倉谷	52.53	164	6月
3	尾見オオマバセ	86.42	203	7月
4	山根	81.62	301	7月
5	東宇塚	102.58	421,422	8月
6	板井原アンタニヤマ	59.91	118	9月
7	板井原ツエガサコ	61.27	119	9月
8	米原奥	69.36	147	10月
9	米原口	72.09	149	10月
	計	660.11		

平成29年度は、9団地で約660haの森林を経営計画団地として策定に向け計画しており、各地域で説明会の開催を予定しています。組合員の皆様には、ご理解とご協力を引き続き宜しくお願い致します。



宇波田子谷団地での説明会

ニューフェイス

たけのぶ しゅうへい
竹延 修兵



12月より事務所職員として勤務しています。

わからない事が多く日々勉強の毎日ですが、先輩方にご指導いただき、1日でも早く皆さんの役に立ち、智頭の美しい森林を守っていけるよう日々精進して参りますので、宜しくお願いします。

すずき ともひろ
鈴木 寛大



4月より現業職員として勤務しています。

分からないことだらけですが、先輩の皆さんの話を聞いたり、行動を見たりして技能を高めたいとおもいます。よろしくお願いします。

いわきり たいき
岩切 大起



4月より現業職員として勤務しています。

鳥取環境大学出身で智頭町には何度も調査や実習でご縁が有りました。

現場作業では安全第一を念頭に置き、森も人も守れる林業者を目指して頑張りますので、宜しくお願いします。

なかしま こうだい
中島 広大



4月より現業職員として勤務しています。

まだまだ未熟で、わからないことが多く毎日が勉強ですが、頑張っていきたいと思っておりますので、宜しくお願いします。

智頭町森林組合運動方針の概要

森林組合の系統運動の一環として、智頭町森林組合の環境分析を踏まえて5年後に目指す姿を描き、実情に応じた林業経営及び森林管理の理念・方針を建て運動（活動）を推進しようとするものです。

1. 基本方針

(1) 組合の現状

- 組合員・地域社会との関係では組合員の山に関する関心の薄れが懸念。
- 組織体制では、ベテラン職員の高齢化が生じており、計画的な後継者育成、知識・技能の伝承が課題である。
- 森林整備事業については、高性能林業機械の導入、路網整備等により生産性の向上を図る必要がある。加工にあっては、事業量の安定・収益率の改善が課題となっている。

(2) 組合の目指すべき姿（経営ビジョン）

- 持続可能な経営を確立する。
組合員の所有森林について、計画的に森林経営計画の作成を行い、実行に当たって森林整備を効率的に実行できる体制づくりを行う。
- 素材生産量を平成32年度50,000m³を目標とする。
生産コストを削減し収益性を確保するため、路網整備と機械の効率化を図り、計画量を達成する。
- 製材加工は平成32年度2,800m³を目標とし、収益率向上、智頭材の販路が広がっている。

(3) 目指すべき姿に向けて今回の運動方針で実施すべきこと

- 組合員・地域社会との関係において
組合だよりによる啓発、ふるさと相談会の開催により山林に対する関心の醸成等の指導事業、森林整備から木材の加工販売までの一連の取組、理解向上に努める。
- 組織体制において
役員はもとより、職員も積極的に経営参画し、経営の安定が自らの生活安定につながるとの認識の下、自己研鑽に努める。職員の高齢化の現実を直視し、計画的な後継者育成、技能・知識で伝承を図っている。
- 事業推進において
搬出間伐を中心に事業を展開し、森林整備事業、販売事業を伸ばしていく。加工では新設の機械設備をフル活用するとともに、森林認証SGEC, COCを有利販売に繋げるよう努める。

2. 運動期間

平成32年度末まで

《国版森林環境税の動き》

6月7日鳥取県主催の森林環境税に係る勉強会が倉吉未来中心で開催されました。

鳥取県では既に実施されており、森林整備や森林活動などに活用され県民に森林の持つ多面的公益機能に認識を高め周知されているところですが、これから国が取り組もうとする内容について、林野庁森林整備部計画課 小坂課長より検討状況の講演を拝聴しました。

財源で300億円から600億円を想定し、市町村主体の森林整備の具体策、体制支援等、また今後のスケジュールとして今年度、与党税制改正大綱により創設に向けて検討し、平成30年度税制改正において結論を得る流れとなるようです。

会場の参加者より意見として、創設には賛成するが林野予算の削減、現状の森林整備の縮小など相反することのないようにしてほしい。

また、要綱、要領が使いやすい制度にしてほしい等要望がありました。

さらに、国策で進めるのなら森林を守り育てた山村に光りがあたり森林の機能が発揮できる整備が必要と力強い発言がありました。

なお、鳥取県版の森林環境税は平成29年度末で第3期の適用期間は満了となりますが、使途事業の見直しを行った上で、引き続き適用期間の延長が検討されております。



講師の小坂課長



会議の様子

「加工センターから」

～～韓国での販売促進～～

智頭町森林組合木材加工センターも構成員となり「鳥取県木質内装材開発・販売推進協議会」を立ち上げ、国内及び海外にシフトして県産材商品の販売促進を行い、幅広く需要拡大に努めています。

これは、県産内装材の開発や販売を進めるため、「木づかいの国とっとり」の名称の下、関係者が取り組んでいるものです。

具体的には、国内外の販路拡大に向け韓国で現地調査を行い、情報収集並びに輸出に向けた勉強会等を行いました。現在、40フィートのコンテナで韓国へ製品を輸出する計画になっております。

輸出品の内容はミニチュアハウス、建具、ベット（床板・腰板）及び「とっとり杉ごころ」、「とっとり桧ごころ」、その他の板物のサンプルであります。

韓国では、温暖の差が厳しく、日本の製品がどのように使っていただけるか注視しながら、販売に努めていく必要があると思っております。

智頭町森林組合では、国際規格である森林認証SGEC, CoCを取得しており、国内外に対応できる体制も整っていることから、積極的に打って出ようと考えております。

住宅着工率が低い中、日々販売に努めておりますが、何よりも組合員皆様の御利用また、各種情報の提供等是非共、よろしくお願い致します。

